

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 3
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590029001	科目番号／Course code	05900290
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名／Course title	●フランス語 I (G1～G3)／French I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	大橋 絵理／Oohashi Eri		
科目分類／Course Category	A 科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟25／RoomC-25		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	G1～G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eoohashi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12：00～12：50 水曜日12：00～12：50 木曜日12：30～12：50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RPGをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プティック、美術館、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1）フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2）フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3）英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか？」と問う文が使えるようになる。 4）基本動詞 etre 「…です」、avoir 「…を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5）国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6）日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☒C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末テスト50%、小テスト20%、課題15%、授業態度15%、を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、授業の最後に次回の内容について説明しますので、教科書を見て内容を理解するようにして下さい。半期で7時間です。 事後学習は、テキストやノートを見ながら内容を確認し、課題や小テストの準備をして下さい。半期で8時間です。	
キーワード/Keywords	フランス語 I	
教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社）	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細／Course Schedule		
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents	授業手法／
第1回	（対面）「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？	A B C
第2回	（対面）「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう	A B C
第3回	（対面）「君は誰だ？」（1） 1）「私は～です」と言ってみよう 2）リエゾンって何？ 3）数を数えよう	A B C
第4回	（対面）「君は誰だ？」（2） 1）「私は、君は」を覚えよう 2）「～人」を覚えよう 3）「～です」を覚えよう	A B C
第5回	（対面）「君は誰だ？」（3） 1）自己紹介をする 2）ペアレッスンで話してみよう 3）「～です」小テスト	A B C
第6回	（対面）Civilisation 1）パリってとんどこ？ 2）フランスの地方を知ろう 3）列車の切符を買ってみよう	A B C
第7回	（対面）「もう一人の雄者」（1） 1）男性名詞と女性名詞って何？ 2）名詞の複数形を書いてみよう 3）練習問題を解こう	A B C
第8回	（対面）「もう一人の雄者」（2） 1）「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2）「持っている」を学ぼう 3）持ってるものを言ってみよう	A B C

第9回	(対面)「もう一人の雄者」(3) 1) 何色の服着てる? 2) 何が飲みたい? 3) 何持ってる?	A B C
第10回	(対面) Civilisation 1) フランスの歴史を知る 2) カフェってどんなところ? 3) カフェで注文してみよう	A B C
第11回	(対面)「捕まった!」(1) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 「～を好き」を学ぼう 3) 何が好き? ペアレッスン	A B C
第12回	(対面)「捕まった!」(2) 1) 「どの花が好き」を学ぶ 2) 疑問文を知る 3) 「好き」の小テスト	A B C
第13回	(対面)「捕まった!」(3) 1) 否定文を作る 2) 練習問題を解いてみよう 3) フランス語の聞き取りをしよう	A B C
第14回	(対面)「捕まった!」(4) 1) 否定文を言ってみよう 2) 色々な国を覚える 3) チャットをしてみよう	A B C
第15回	(対面) フランス人へメールを書く 1) 自己紹介を書いてみよう 2) フランス人へのメールを書く	A B C
第16回	(対面) 定期試験	A B C

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 4
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590029002	科目番号／Course code	05900290
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名／Course title	●フランス語 I (F1～F3)／French I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	大橋 絵理／Oohashi Eri		
科目分類／Course Category	A科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟25／RoomC-25		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	F1～F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12：00～12：50 水曜日12：00～12：50 木曜日12：30～12：50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RPGをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プティック、美術館、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1）フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2）フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3）英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか？」と問う文が使えるようになる。 4）基本動詞 etre 「…です」、avoir 「…を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5）国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6）日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☒C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題15%、授業態度15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、授業の最後に次回の内容について説明しますので、教科書を見て内容を理解するようにして下さい。半期で7時間です。 事後学習は、テキストやノートを見ながら内容を確認し、課題や小テストの準備をして下さい。半期で8時間です。	
キーワード/Keywords	フランス語 I	
教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社）	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細／Course Schedule		
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents	授業手法／
第1回	（対面）「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？	A B C
第2回	（対面）「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう	A B C
第3回	（対面）「君は誰だ？」（1） 1）「私は～です」と言ってみよう 2）リエゾンって何？ 3）数を数えよう	A B C
第4回	（対面）「君は誰だ？」（2） 1）「私は、君は」を覚えよう 2）「～人」を覚えよう 3）「～です」を覚えよう	A B C
第5回	（対面）「君は誰だ？」（3） 1）自己紹介をする 2）ペアレッスンで話してみよう 3）「～です」小テスト	A B C
第6回	（対面）Civilisation 1）パリってどんなところ？ 2）フランスの地方を知ろう 3）列車の切符を買ってみよう	A B D
第7回	（対面）「もう一人の雄者」（1） 1）男性名詞と女性名詞って何？ 2）名詞の複数形を書いてみよう 3）練習問題を解こう	A B C
第8回	（対面）「もう一人の雄者」（2） 1）「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2）「持っている」を学ぼう 3）持ってるものを言ってみよう	A B C

第9回	(対面)「もう一人の雄者」(3) 1) 何色の服着てる? 2) 何が飲みたい? 3) 何持ってる?	A B C
第10回	(対面) Civilisation 1) フランスの歴史を知る 2) カフェってどんなところ? 3) カフェで注文してみよう	A B D
第11回	(対面)「捕まった!」(1) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 「～を好き」を学ぼう 3) 何が好き? ペアレッスン	A B C
第12回	(対面)「捕まった!」(2) 1) 「どの花が好き」を学ぶ 2) 疑問文を知る 3) 「好き」の小テスト	A B C
第13回	(対面)「捕まった!」(3) 1) 否定文を作る 2) 練習問題を解いてみよう 3) フランス語の聞き取りをしよう	A B C
第14回	(対面)「捕まった!」(4) 1) 否定文を言ってみよう 2) 色々な国を覚える 3) チャットをしてみよう	A B C
第15回	(対面) フランス人へメールを書く 1) 自己紹介を書いてみよう 2) フランス人へのメールを書く	A B C
第16回	(対面) 定期試験	A B C

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 3
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590029003	科目番号／Course code	05900290
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名／Course title	●フランス語 I (K1～K3)／French I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	大橋 絵理／Oohashi Eri		
科目分類／Course Category	A科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟16／RoomC-16		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	K1～K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eoohashi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12：00～12：50 水曜日12：00～12：50 木曜日12：30～12：50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RPGをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プティック、美術館、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの文化的・社会的な面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1）フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2）フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3）英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか？」と問う文が使えるようになる。 4）基本動詞 etre 「…です」、avoir 「…を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5）国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6）日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題15%、授業態度15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、授業の最後に次回の内容について説明しますので、教科書を見て内容を理解するようにして下さい。半期で7時間です。 事後学習は、テキストやノートを見ながら内容を確認し、課題や小テストの準備をして下さい。半期で8時間です。	
キーワード/Keywords	フランス語 I	
教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社）	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細／Course Schedule		
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents	授業手法／
第1回	（対面）「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？	A B C
第2回	（対面）「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう	A B C
第3回	（対面）「君は誰だ？」（1） 1）「私は～です」と言ってみよう 2）リエゾンって何？ 3）数を数えよう	A B C
第4回	（対面）「君は誰だ？」（2） 1）「私は、君は」を覚えよう 2）「～人」を覚えよう 3）「～です」を覚えよう	A B C
第5回	（対面）「君は誰だ？」（3） 1）自己紹介をする 2）ペアレッスンで話してみよう 3）「～です」小テスト	A B C
第6回	（対面）Civilisation 1）パリってとんどこ？ 2）フランスの地方を知ろう 3）列車の切符を買ってみよう	A B D
第7回	（対面）「もう一人の雄者」（1） 1）男性名詞と女性名詞って何？ 2）名詞の複数形を書いてみよう 3）練習問題を解こう	A B C
第8回	（対面）「もう一人の雄者」（2） 1）「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2）「持っている」を学ぼう 3）持ってるものを言ってみよう	A B C

第9回	(対面)「もう一人の雄者」(3) 1) 何色の服着てる? 2) 何が飲みたい? 3) 何持ってる?	A B C
第10回	(対面) Civilisation 1) フランスの歴史を知る 2) カフェってどんなところ? 3) カフェで注文してみよう	A B D
第11回	(対面)「捕まった!」(1) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 「～を好き」を学ぼう 3) 何が好き? ペアレッスン	A B C
第12回	(対面)「捕まった!」(2) 1) 「どの花が好き」を学ぶ 2) 疑問文を知る 3) 「好き」の小テスト	A B C
第13回	(対面)「捕まった!」(3) (対面) 1) 否定文を作る 2) 練習問題を解いてみよう 3) フランス語の聞き取りをしよう	A B C
第14回	(対面)「捕まった!」(4) 1) 否定文を言ってみよう 2) 色々な国を覚える 3) チャットをしてみよう	A B C
第15回	(対面) フランス人へメールを書く 1) 自己紹介を書いてみよう 2) フランス人へのメールを書く	A B
第16回	(対面) 定期試験	A B C

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 3
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590031001	科目番号／Course code	05900310
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名／Course title	●フランス語Ⅱ (G1～G3)／FrenchⅡ		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	大橋 絵理／Oohashi Eri		
科目分類／Course Category	A科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟16／RoomC-16		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	G1～G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12：00～12：50 水曜日12：00～12：50 木曜日12：30～12：50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、前期の続きの「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RGPをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。 またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1）「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2）形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3）フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4）簡単なメールが書けるようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題15%、授業態度15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、授業の最後に次回の内容について説明しますので、教科書を見て内容を理解するようにして下さい。半期で7時間です。 事後学習は、テキストやノートを見ながら内容を確認し、課題や小テストの準備をして下さい。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語Ⅱ		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社）	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細／Course Schedule		
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents	授業手法／
第1回	（対面）「どこにいる？」（1） 1）パンの種類を学ぶ 2）「～へ行く」を言ってみよう 3）ペアレッスンをしてみよう	A B C
第2回	（対面）「どこにいる？」（2） 1）縮約形って何？ 2）買い物をしよう。 3）「～へ行く」の小テスト	A B C
第3回	（対面）「どこにいる？」（3） 1）ケーキの種類を学ぶ 2）「終わる」を言ってみよう 3）フランス語を聞き取ろう	A B C
第4回	（対面）Civilisation 1）フランスは小学生から留年がある？ 2）フランスの大学生生活 3）自分の大学生生活をフランス語で話してみよう	A B D
第5回	（対面）「使いこなせ！」（1） 1）否定してみよう 2）前置詞を学ぶ 3）ペアレッスン	A B C
第6回	（対面）「使いこなせ！」（2） 1）比較してみる 2）食べ物、飲み物に冠詞をつける 3）練習問題を解く	A B C
第7回	（対面）「使いこなせ！」（3） 1）1日の時間の使い方を知ろう 2）命令形を作ってみよう 3）フランス語を聞き取ろう	A B C
第8回	（対面）「師匠のもとへ」（1） 1）近い未来を言う 2）時間を聞いて答えよう 3）ペアレッスン	A B C
第9回	（対面）「師匠のもとへ」（2） 1）「どうして」「だって」を覚えよう 2）練習問題を解く 3）100まで覚えよう	A B C

第10回	(対面)「師匠のもとへ」(3) 1)「来る」を覚える 2)数字を聞き取ろう 3)ペアレッスン	A B C
第11回	(対面)「パワーを獲得」(1) 1)体の部分の単語を覚える 2)おなか痛い? 3)「～が欲しい」の動詞を学ぶ	A B C
第12回	(対面)「パワーを獲得」(2) 1)近い過去を学ぶ 2)欲しいもの何? 3)ペアレッスン	A B C
第13回	(対面)「パワーを獲得」(3) 1)カフェ、レストランで注文しよう 2)暑い、寒いの表現を知る 3)練習問題を解く	A B C
第14回	(対面)フランス語でパワーポイントを作ろう(1) 1)写真入りで自己紹介の文章を書こう 2)写真入りで自分の好きなものを紹介しよう	A B C
第15回	(対面)フランス語でパワーポイントを作ろう(2) 1)写真入りで自分の街を紹介しよう 2)写真入りで日本のお正月を紹介しよう	A B C
第16回	(対面)定期試験	A B C

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 4
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590031002	科目番号／Course code	05900310
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名／Course title	●フランス語Ⅱ (F1～F3)／FrenchⅡ		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	大橋 絵理／Oohashi Eri		
科目分類／Course Category	A科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟16／RoomC-16		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	F1～F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12：00～12：50 水曜日12：00～12：50 木曜日12：30～12：50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、前期の続きの「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RGPをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。 またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1）「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2）形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3）フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4）簡単なメールが書けるようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 20%、課題 15%、授業態度 15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、授業の最後に次回の内容について説明しますので、教科書を見て内容を理解するようにして下さい。半期で7時間です。 事後学習は、テキストやノートを見ながら内容を確認し、課題や小テストの準備をして下さい。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語Ⅱ		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社）	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細／Course Schedule		
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents	授業手法／
第1回	（対面）「どこにいる？」（1） 1）パンの種類を学ぶ 2）「～へ行く」を言ってみよう 3）ペアレッスンをしてみよう	A B C
第2回	（対面）「どこにいる？」（2） 1）縮約形って何？ 2）買い物をしよう。 3）「～へ行く」の小テスト	A B C
第3回	（対面）「どこにいる？」（3） 1）ケーキの種類を学ぶ 2）「終わる」を言ってみよう 3）フランス語を聞き取ろう	A B C
第4回	（対面）Civilisation 1）フランスは小学生から留年がある？ 2）フランスの大学生生活 3）自分の大学生生活をフランス語で話してみよう	A B D
第5回	（対面）「使いこなせ！」（1） 1）否定してみよう 2）前置詞を学ぶ 3）ペアレッスン	A B C
第6回	（対面）「使いこなせ！」（2） 1）比較してみる 2）食べ物、飲み物に冠詞をつける 3）練習問題を解く	A B C
第7回	（対面）「使いこなせ！」（3） 1）1日の時間の使い方を知ろう 2）命令形を作ってみよう 3）フランス語を聞き取ろう	A B C
第8回	（対面）「師匠のもとへ」（1） 1）近い未来を言う 2）時間を聞いて答えよう 3）ペアレッスン	A B C
第9回	（対面）「師匠のもとへ」（2） 1）「どうして」「だって」を覚えよう 2）練習問題を解く 3）100まで覚えよう	A B C

第10回	(対面)「師匠のもとへ」(3) 1)「来る」を覚える 2)数字を聞き取ろう 3)ペアレッスン	A B C
第11回	(対面)「パワーを獲得」(1) 1)体の部分の単語を覚える 2)おなか痛い? 3)「～が欲しい」の動詞を学ぶ	A B C
第12回	(対面)「パワーを獲得」(2) 1)近い過去を学ぶ 2)欲しいもの何? 3)ペアレッスン	A B C
第13回	(対面)「パワーを獲得」(3) 1)カフェ、レストランで注文しよう 2)暑い、寒いの表現を知る 3)練習問題を解く	A B C
第14回	(対面)フランス語でパワーポイントを作ろう(1) 1)写真入りで自己紹介の文章を書こう 2)写真入りで自分の好きなものを紹介しよう	A B C
第15回	(対面)フランス語でパワーポイントを作ろう(2) 1)写真入りで自分の街を紹介しよう 2)写真入りで日本のお正月を紹介しよう	A B C
第16回	(対面)定期試験	A B C

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 3
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590031003	科目番号／Course code	05900310
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名／Course title	●フランス語Ⅱ (K1～K3)／FrenchⅡ		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	大橋 絵理／Oohashi Eri		
科目分類／Course Category	A科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟25／RoomC-25		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	K1～K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12：00～12：50 水曜日12：00～12：50 木曜日12：30～12：50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、前期の続きの「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RPGをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。 またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1）「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2）形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3）フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4）簡単なメールが書けるようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題15%、授業態度15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、授業の最後に次回の内容について説明しますので、教科書を見て内容を理解するようにして下さい。半期で7時間です。 事後学習は、テキストやノートを見ながら内容を確認し、課題や小テストの準備をして下さい。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語Ⅱ		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社）	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細／Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents	授業手法／
第1回	（対面）「どこにいる？」（1） 1）パンの種類を学ぶ 2）「～へ行く」を言ってみよう 3）ペアレッスンをしてみよう	A B C
第2回	（対面）「どこにいる？」（2） 1）縮約形って何？ 2）買い物しよう。 3）「～へ行く」の小テスト	A B C
第3回	（対面）「どこにいる？」（3） 1）ケーキの種類を学ぶ 2）「終わる」を言ってみよう 3）フランス語を聞き取ろう	A B C
第4回	（対面）Civilisation 1）フランスは小学生から留年がある？ 2）フランスの大学生生活 3）自分の大学生生活をフランス語で話してみよう	A B C
第5回	（対面）「使いこなせ！」（1） 1）否定してみよう 2）前置詞を学ぶ 3）ペアレッスン	A B
第6回	（対面）「使いこなせ！」（2） 1）比較してみる 2）食べ物、飲み物に冠詞をつける 3）練習問題を解く	A B C
第7回	（対面）「使いこなせ！」（3） 1）1日の時間の使い方を知ろう 2）命令形を作ってみよう 3）フランス語を聞き取ろう	A B C
第8回	（対面）「師匠のもとへ」（1） 1）近い未来を言う 2）時間を聞いて答えよう 3）ペアレッスン	A B C
第9回	（対面）「師匠のもとへ」（2） 1）「どうして」「だって」を覚えよう 2）練習問題を解く 3）100まで覚えよう	A B C

第10回	(対面)「師匠のもとへ」(3) 1)「来る」を覚える 2)数字を聞き取ろう 3)ペアレッスン	A B C
第11回	(対面)「パワーを獲得」(1) 1)体の部分の単語を覚える 2)おなか痛い? 3)「～が欲しい」の動詞を学ぶ	A B C
第12回	(対面)「パワーを獲得」(2) 1)近い過去を学ぶ 2)欲しいもの何? 3)ペアレッスン	A B C
第13回	(対面)「パワーを獲得」(3) 1)カフェ、レストランで注文しよう 2)暑い、寒いの表現を知る 3)練習問題を解く	A B C
第14回	(対面)フランス語でパワーポイントを作ろう(1) 1)写真入りで自己紹介の文章を書こう 2)写真入りで自分の好きなものを紹介しよう	A B C
第15回	(対面)フランス語でパワーポイントを作ろう(2) 1)写真入りで自分の街を紹介しよう 2)写真入りで日本のお正月を紹介しよう	A B C
第16回	(対面)定期試験	A B C

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 1
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	必修, 選択／required, elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590033001	科目番号／Course code	05900330
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名／Course title	●フランス語Ⅲ(2G1～2G3)／FrenchⅢ		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) ／Instructor in charge of the course	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) ／Instructor(s)	大橋 絵理／Oohashi Eri		
科目分類／Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次／Intended year	2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟16／RoomC-16		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	2G1～2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-891-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00～12:50 水曜日12:00～12:50 木曜日10:30～12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	『ピエールとユゴー』の続きさらにさらに会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を発展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。		
授業到達目標/Course goals	(1) 映画に行ったり、余暇をどう過ごしたかという日々の行動等を複合過去形や半過去形で話せるようにします。 (2) TGVの乗り方、買い物の支払い方法、将来の計画会話を未来形や接続法を使いながらマスターします。 (3) 自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題15%、授業への積極的参加15% を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、授業の最後に次回の内容について説明しますので、教科書を見て内容を理解するようにして下さい。半期で7時間です。 事後学習は、テキストやノートを見ながら内容を確認し、課題や小テストの準備をして下さい。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語Ⅲ		
教科書・教材・参考書/Materials	『ピエールとユゴー』(白水社)		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細／Course Schedule		
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents	授業手法／
第1回	（対面）「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」（１） （１）天気を言う、「～があります」 （２）「～できる」 （３）文法練習問題	A B C
第2回	（対面）「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」（２） （１）「私を、君を、彼を」等、直接目的語人称代名詞 （２）会話練習 （３）天候小テスト	A B C
第3回	（対面）「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」（３） （１）「何時ですか」等、目的語人称代名詞 （２）会話練習 （３）天候小テスト	A B C
第4回	（対面）「ユゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」 （１） （１）「～に乗ります」「～を着ます」「～を買います」 <prendre> （２）「私に、君に、彼に」等、間接目的語人称代名詞 （３）「気に入りましたか？」	A B C
第5回	（対面）「ユゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」 （２） （１）「起きる」「自己紹介する」代名動詞 （２）カフェで注文する （３）単語１０個小テスト	A B C
第6回	（対面）「ピエールはカフェで注文をとります」（１） （１）「今から～します」 （２）近接未来問題練習 （３）代名動詞小テスト	A B C
第7回	（対面）「ピエールはカフェで注文をとります」（２） （１）「たった今～したところです」 （２）近接過去問題練習 （３）チャット	A B C
第8回	（対面）「ピエールはカフェで注文をとります」（３） （１）「それ」 <en> （２）中性代名詞問題練習 （３）会話小テスト	A B C
第9回	（対面）「二人はサイクリングへ行きます」（１） （１）「～より～です」比較級 （２）感想の表現を学ぶ （３）単語１０個小テスト	A B C
第10回	（対面）「二人はサイクリングへ行きます」（２） （１）「～の中で１番～です」最上級 （２）聞き取り練習 （３）比較級、最上級練習問題	A B C

第11回	(対面) 「二人はサイクリングへ行きます」 (3) (1) 「～番目です」 (2) 会話ペアレッスン (3) 文章を読む	A B C
第12回	(対面) 「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」 (1) (1) 過去分詞を作る (2) avoir の復習 (3) 「誰」「誰が」「誰を」	A B C
第13回	(対面) 「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」 (2) (1) 「～しました」 avoir の複合過去 (2) avoir の複合過去練習問題 (3) 「何」「何が」「何を」	A B C
第14回	(対面) 「海に行ったことのないユゴーのために計画をたてます」 (1) (1) 「～しました」 être の複合過去 (2) être の複合過去練習問題 (3) 「もし～なら～しよう」	A B C
第15回	(対面) 「海に行ったことのないユゴーのために計画をたてます」 (2) (1) 「それ」 <y> (2) 数「70～10000」 (3) 会話ペアレッスン	A B C
第16回	(対面) 定期試験	A B C

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Others 0
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	必修, 選択／required, elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590033002	科目番号／Course code	05900330
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名／Course title	【Online】●フランス語Ⅲ(再履修)／FrenchⅢ		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) ／Instructor in charge of the course	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) ／Instructor(s)	大橋 絵理／Oohashi Eri		
科目分類／Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次／Intended year	2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	全学		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-891-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00～12:50 水曜日12:00～12:50 木曜日10:30～12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	『ピエールとユゴー』の続きです。さらに会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を発展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。		
授業到達目標/Course goals	(1) 映画に行ったり、余暇をどう過ごしたかという日々の行動等を複合過去形や半過去形で話せるようにします。 (2) TGVの乗り方、買い物の支払い方法、将来の計画会話を未来形や接続法を使いながらマスターします。 (3) 自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題15%、授業への積極的参加15% を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、授業の最後に次回の内容について説明しますので、教科書を見て内容を理解するようにして下さい。半期で7時間です。 事後学習は、テキストやノートを見ながら内容を確認し、課題や小テストの準備をして下さい。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語Ⅲ		
教科書・教材・参考書/Materials	『ピエールとユゴー』(白水社)		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細／Course Schedule		
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents	授業手法／
第1回	〔オンライン〕 「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」（１） （１）天気を言う、「～があります」 （２）「～できる」 （３）文法練習問題	A B C
第2回	〔オンライン〕 「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」（２） （１）「私を、君を、彼を」等、直接目的語人称代名詞 （２）会話練習 （３）天候小テスト	A B C
第3回	〔オンライン〕 「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」（３） （１）「何時ですか」等、目的語人称代名詞 （２）会話練習 （３）天候小テスト	A B C
第4回	〔オンライン〕 「ユゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」（１） （１）「～に乘ります」「～を着ます」「～を買います」 <prendre> （２）「私に、君に、彼に」等、間接目的語人称代名詞 （３）「気にいりましたか？」	A B C
第5回	〔オンライン〕 「ユゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」（２） （１）「起きる」「自己紹介する」代名動詞 （２）カフェで注文する （３）単語１０個小テスト	A B C
第6回	〔オンライン〕 「ピエールはカフェで注文をとります」（１） （１）「今から～します」 （２）近接未来問題練習 （３）代名動詞小テスト	A B C
第7回	〔オンライン〕 「ピエールはカフェで注文をとります」（２） （１）「たった今～したところです」 （２）近接過去問題練習 （３）チャット	A B C
第8回	〔オンライン〕 「ピエールはカフェで注文をとります」（３） （１）「それ」 <en> （２）中性代名詞問題練習 （３）会話小テスト	A B C
第9回	〔オンライン〕 「二人はサイクリングへ行きます」（１） （１）「～より～です」比較級 （２）感想の表現を学ぶ （３）単語１０個小テスト	A B C

第10回	〔オンライン〕 「二人はサイクリングへ行きます」（2） （1）「～の中で1番～です」最上級 （2）聞き取り練習 （3）比較級、最上級練習問題	A B C
第11回	〔オンライン〕 「二人はサイクリングへ行きます」（3） （1）「～番目です」 （2）会話ペアレッスン （3）文章を読む	A B C
第12回	〔オンライン〕 「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」（1） （1）過去分詞を作る （2）avoir の復習 （3）「誰」「誰が」「誰を」	A B C
第13回	〔オンライン〕 「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」（2） （1）「～しました」avoir の複合過去 （2）avoir の複合過去練習問題 （3）「何」「何が」「何を」	A B C
第14回	〔オンライン〕 「海に行ったことのないユゴーのために計画をたてます」（1） （1）「～しました」être の複合過去 （2）être の複合過去練習問題 （3）「もし～なら～しよう」	A B C
第15回	〔オンライン〕 「海に行ったことのないユゴーのために計画をたてます」（2） （1）「それ」<y> （2）数「70～10000」 （3）会話ペアレッスン	A B C
第16回	〔オンライン〕 定期試験	A B

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 2
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修, 選択／required, elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590035001	科目番号／Course code	05900350
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名／Course title	●フランス語IV(2G1～2G3)／FrenchIV		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) ／Instructor in charge of the course	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) ／Instructor(s)	大橋 絵理／Oohashi Eri		
科目分類／Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次／Intended year	2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟25／RoomC-25		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	2G1～2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eoohashi▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日13:00～17:00 水曜日14:30～17:00 木曜日10:30～12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を発展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。		
授業到達目標/Course goals	(1) 「～していた」という状態を表す過去形をマスターします。 (2) 未来形を使って将来の計画を話せるようにします。 (3) 「もし～できたら、～なのに」という条件法を使えるようにします。 (4) 自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とし、最終的にはフランス語検定3級程度をめざします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題15%、授業への積極的参加15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、授業の最後に次回の内容について説明しますので、教科書を見て内容を理解するようにして下さい。半期で7時間です。 事後学習は、テキストやノートを見ながら内容を確認し、課題や小テストの準備をして下さい。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語IV		
教科書・教材・参考書/Materials	『ビエールとユゴー』(白水社)		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細／Course Schedule		
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents	授業手法／
第1回	（対面）「二人は松林をハイキングして海にでます」（１） （１）「～していた」という状態を表現する半過去を学ぶ （２）半過去の練習問題 （３）半過去の会話練習	A B C
第2回	（対面）「二人は松林をハイキングして海にでます」（２） （１）「～していた時は、すでに～だった」 （２）「～年前から」の表現 （３）半過去形小テスト	A B C
第3回	（対面）「二人は松林をハイキングして海にでます」（３） （１）<monde> の表現を学ぶ （２）大過去形の練習問題 （３）文章を読む	A B C
第4回	（対面）「また、夏に来ることを誓います」（１） （１）未来形を学ぶ （２）未来にしたいことを話す （３）音楽やスポーツを学ぶ	A B C
第5回	（対面）「また、夏に来ることを誓います」（２） （１）「～時には、～は終わってるだろう」 （２）前未来練習問題 （３）タロとモモの会話練習	A B C
第6回	（対面）「また、夏に来ることを誓います」（３） （１）できること。できないことを言う （２）慣用表現を学ぶ （３）本文小テスト	A B C
第7回	（対面）「ヒッチハイクをしたら前と同じおじさんでした」（１） （１）「もし～なら、～なのに」の表現 （２）「なんて～なんだろう」 （３）条件法練習問題	A B C
第8回	（対面）「ヒッチハイクをしたら前と同じおじさんでした」（２） （１）「もし～だったら、～だったのに」の表現 （２）「～したいんですが」の言い方を学ぶ （３）タロとモモの会話を聞きとって書いてみよう	A B C
第9回	（対面）「ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます」（１） （１）事実ではないかもしれないことを言う （２）「残念だ」の表現を学ぶ （３）接続法練習問題	A B C
第10回	（対面）「ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます」（２） （１）事実ではなかったかもしれないことを言う （２）「～しなくてはいけない」の表現を学ぶ （３）接続法小テスト	A B C
第11回	（対面）「ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます」（３） （１）文章を読む （２）色々な表現を使ってチャットをしてみよう （３）聞き取りの練習をする	A B C

第12回	(対面)「叔母さんにお礼のメールを送ります」(1) (1) 関係代名詞 <qui> <que> <ou> を学ぶ (2) 関係代名詞練習問題 (3) 「～しながら」の表現を学ぶ	A B C
第13回	(対面)「叔母さんにお礼のメールを送ります」(2) (1) 別れの挨拶の表現を学ぶ (2) 強調する文を作る (3) メールを書いてみよう	A B C
第14回	(対面)グループでシナリオを作成し、ビデオにとってみよう(1)	A B C
第15回	(対面)グループでシナリオを作成し、ビデオにとってみよう(2)	A B C
第16回	(対面)定期試験	A B C

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Others 0
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修, 選択／required, elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590035002	科目番号／Course code	05900350
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名／Course title	【Online】●フランス語IV(再履修)／FrenchIV		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	大橋 絵理／Oohashi Eri		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	大橋 絵理／Oohashi Eri		
科目分類／Course Category	B科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	オンライン		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	全学		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eoohashi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日13：00～17：00 水曜日14：30～17：00 木曜日10：30～12：00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を発展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。		
授業到達目標/Course goals	（１）「～していた」という状態を表す過去形をマスターします。 （２）未来形を使って将来の計画を話せるようにします。 （３）「もし～できたら、～なのに」という条件法を使えるようにします。 （４）自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とし、最終的にはフランス語検定3級程度をめざします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題15%、授業への積極的参加15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、授業の最後に次回の内容について説明しますので、教科書を見て内容を理解するようにして下さい。半期で7時間です。 事後学習は、テキストやノートを見ながら内容を確認し、課題や小テストの準備をして下さい。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語IV		
教科書・教材・参考書/Materials	『ビエールとユゴー』（白水社）		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細／Course Schedule		
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents	授業手法／
第1回	〔オンライン〕 「二人は松林をハイキングして海にでます」（１） （１）「～していた」という状態を表現する半過去を学ぶ （２）半過去の練習問題 （３）半過去の会話練習	A B C
第2回	〔オンライン〕 指示代名詞、練習問題 「二人は松林をハイキングして海にでます」（２） （１）「～していた時は、すでに～だった」 （２）「～年前から」の表現 （３）半過去形小テスト	A B C
第3回	〔オンライン〕 「二人は松林をハイキングして海にでます」（３） （１）<monde> の表現を学ぶ （２）大過去形の練習問題 （３）文章を読む	A B C
第4回	〔オンライン〕 「また、夏に来ることを誓います」（１） （１）未来形を学ぶ （２）未来にしたいことを話す （３）音楽やスポーツを学ぶ	A B C
第5回	〔オンライン〕 「また、夏に来ることを誓います」（２） （１）「～時には、～は終わってるだろう」 （２）前未来練習問題 （３）タロとモモの会話練習	A B C
第6回	〔オンライン〕 「また、夏に来ることを誓います」（３） （１）できること。できないことを言う （２）慣用表現を学ぶ （３）本文小テスト	A B C
第7回	〔オンライン〕 「ヒッチハイクをしたら前と同じおじさんでした」（１） （１）「もし～なら、～なのに」の表現 （２）「なんて～なんだろう」 （３）条件法練習問題	A B C
第8回	〔オンライン〕 「ヒッチハイクをしたら前と同じおじさんでした」（２） （１）「もし～だったら、～だったのに」の表現 （２）「～したいんですが」の言い方を学ぶ （３）タロとモモの会話を聞きとって書いてみよう	A B C

第9回	〔オンライン〕 「ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます」（１） （１）事実ではないかもしれないことを言う （２）「残念だ」の表現を学ぶ （３）接続法練習問題	A B C
第10回	〔オンライン〕 「ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます」（２） （１）事実ではなかったかもしれないことを言う （２）「～しなくてはいけない」の表現を学ぶ （３）接続法小テスト	A B C
第11回	〔オンライン〕 「ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます」（３） （１）文章を読む （２）色々な表現を使ってチャットをしてみよう （３）聞き取りの練習をする	A B C
第12回	〔オンライン〕 「叔母さんにお礼のメールを送ります」（１） （１）関係代名詞 <qui> <que> <ou> を学ぶ （２）関係代名詞練習問題 （３）「～しながら」の表現を学ぶ	A B C
第13回	〔オンライン〕 「叔母さんにお礼のメールを送ります」（２） （１）別れの挨拶の表現を学ぶ （２）強調する文を作る （３）メールを書いてみよう	A B C
第14回	〔オンライン〕 iPadを使ってグループでシナリオを作成し、ビデオにとってみよう （１）	A B C
第15回	〔オンライン〕 iPadを使ってグループでシナリオを作成し、ビデオにとってみよう （２）	A B C
第16回	〔オンライン〕 定期試験	A B C